

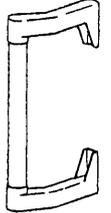
このたびは、新日軽の商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立ておよび取り付けには、この施工要領書をよくお読みになり、正しく・美しく仕上げてください。
障子に同梱されている取り扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。

組み立て・取り付け上の注意事項

- ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたって必ずお守りください。
- ①玄関引戸以外への使用および改造は行なわないでください。
- ②指定の部品およびオプション品以外のものは使用しないでください。
- ③ねじ止め・釘打ち箇所は指定してあるねじを確実に止めてください。
- ④障子本体は重いので、2人以上で扱うなど建て込みの際には、足元や周囲に十分配慮して行なってください。
- ⑤シーリング(コーキング)は、塗布箇所を十分に清掃し、指定箇所全てを確実に行ってください。
- ⑥組み立て・取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと、開閉動作や施錠が正常に行なえることおよび使用上の不具合がないことを確認してください。
- ⑦引渡前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- ⑧施錠した状態で枠と障子間等に隙間が生じていないかご確認ください。不具合がある場合は、確実に建付け調整を実施してください。

商品一覧

■引手セット(EDBOX1) [別途有償] ()内はEDBOX3

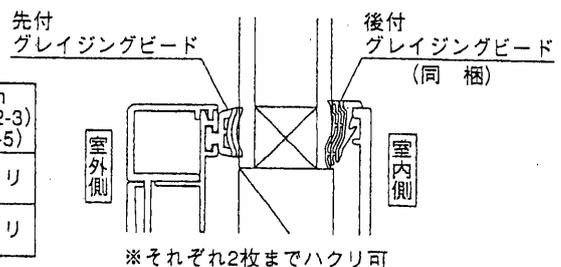
名称	姿図	入数	備考	名称	姿図	入数	備考
引手(小)		1 (2)	室外側障子用	キャップ(小)		2 (4)	引手(小)固定用
引手(大)		1 (0)	室内側障子用	キャップ(大)		2 (0)	引手(大)固定用
				トラス小ねじ 4×20		8	引手固定用

■本体同梱部品 ()内は4枚戸

名称	姿図	入数	備考
ストップ PKH5053		2 (4)	室外側障子に 取付
さら小ねじ 4×30		4 (8)	ストップ 固定用

■ガラス押え一覧

	18mm (3-A12-3)	19mm (4-A12-3)	20mm (4-A12-3) (5-A12-3)	21mm (5-A12-4)	22mm (6,8-A12-3) (5-A12-5)
先付 グレイジングビード	—	1枚ハクリ	2枚ハクリ	2枚ハクリ	2枚ハクリ
後付 グレイジングビード	—	—	—	1枚ハクリ	2枚ハクリ



お願い 必ず上表にそってグレイジングビードをハクリしてください。

ポイント ガラスの総厚みを実測した上で行ってください。

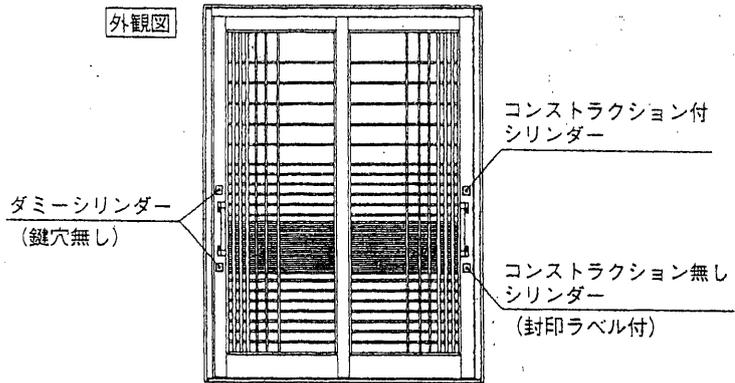
コンストラクション装置について

本製品は上部シリンダーにコンストラクション装置を採用しています。工事は専用のコンストラクションキーを使用していただきますが、竣工後、お施主様専用のキーで作動することにより、コンストラクションキーは使用できなくなります。

お願い

お施主様に引き渡しの際、封印ラベルははがしてください。

外観図



※左右のシリンダーの入れ替えは本説明書2章を参照ください。

1 ガラスの取付

①ガラスを室内側より、ケンドン式で障子にはめ込んでください。

お願い

ガラスは複層ガラスのため、かなりの重量があります。ガラスを入れる際には必ず2人1組で作業してください。

ポイント

左右の呑み込み寸法を均等にしてください。

②押縁を取付けてください。

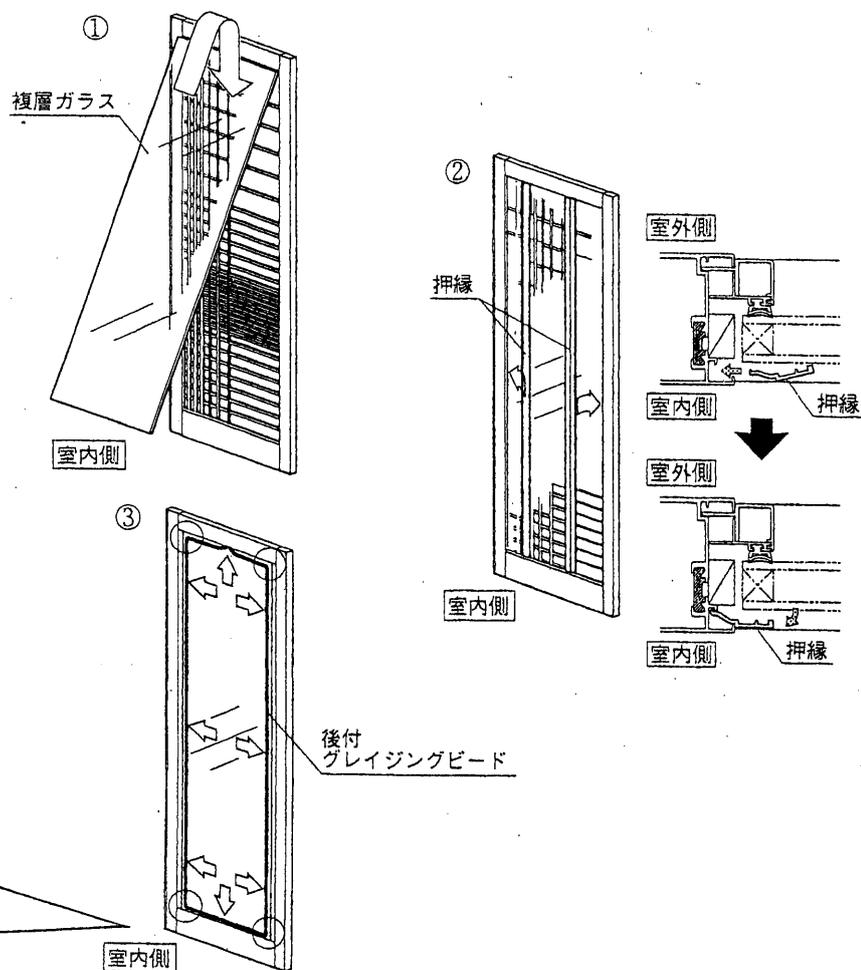
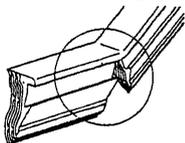
③後付グレイジングビードをはめ込んでください。右図のように後付ビードを上部中央より全周に廻してください。

ポイント

後付グレイジングビードは長めに入れないでください。このグレイジングビードは特殊繊維入りのため伸縮がありません。長めに入れると表面が波打つので注意してください。

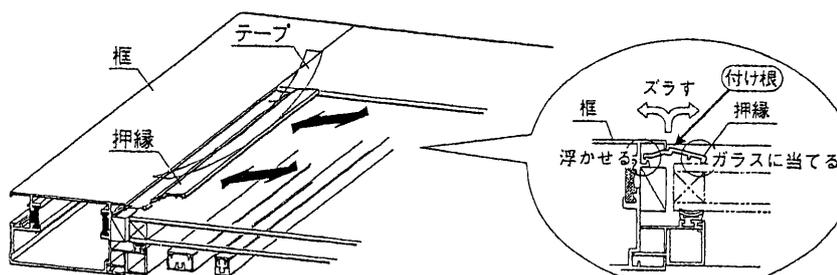
ポイント

後付グレイジングビードのコーナー部は下図のようにカッター等で切れ目を入れてください。



■押縁が着脱しにくい場合にお読みください。

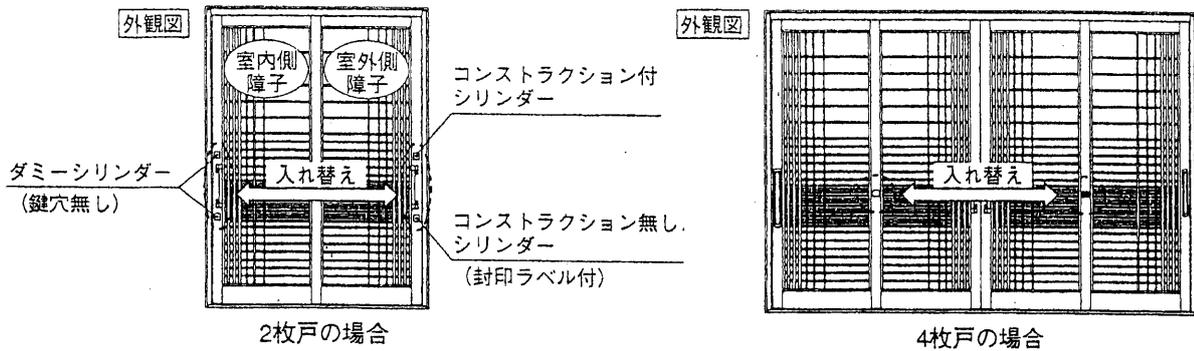
押縁にテープを貼り付けて図中の付け根の辺りを持ち上げ、横にずらすようにすると楽に着脱できます。



2

シリンダーの入れ替え (必要な場合のみご覧ください。)

本製品は、工場出荷時には2枚戸の場合は室外側障子、4枚戸の場合は外観右側に鍵穴がつくようにシリンダーが取付けてあります。勝手変更が必要な場合のみ、ご参照ください。
(該当しない場合は3章からお読みください。)



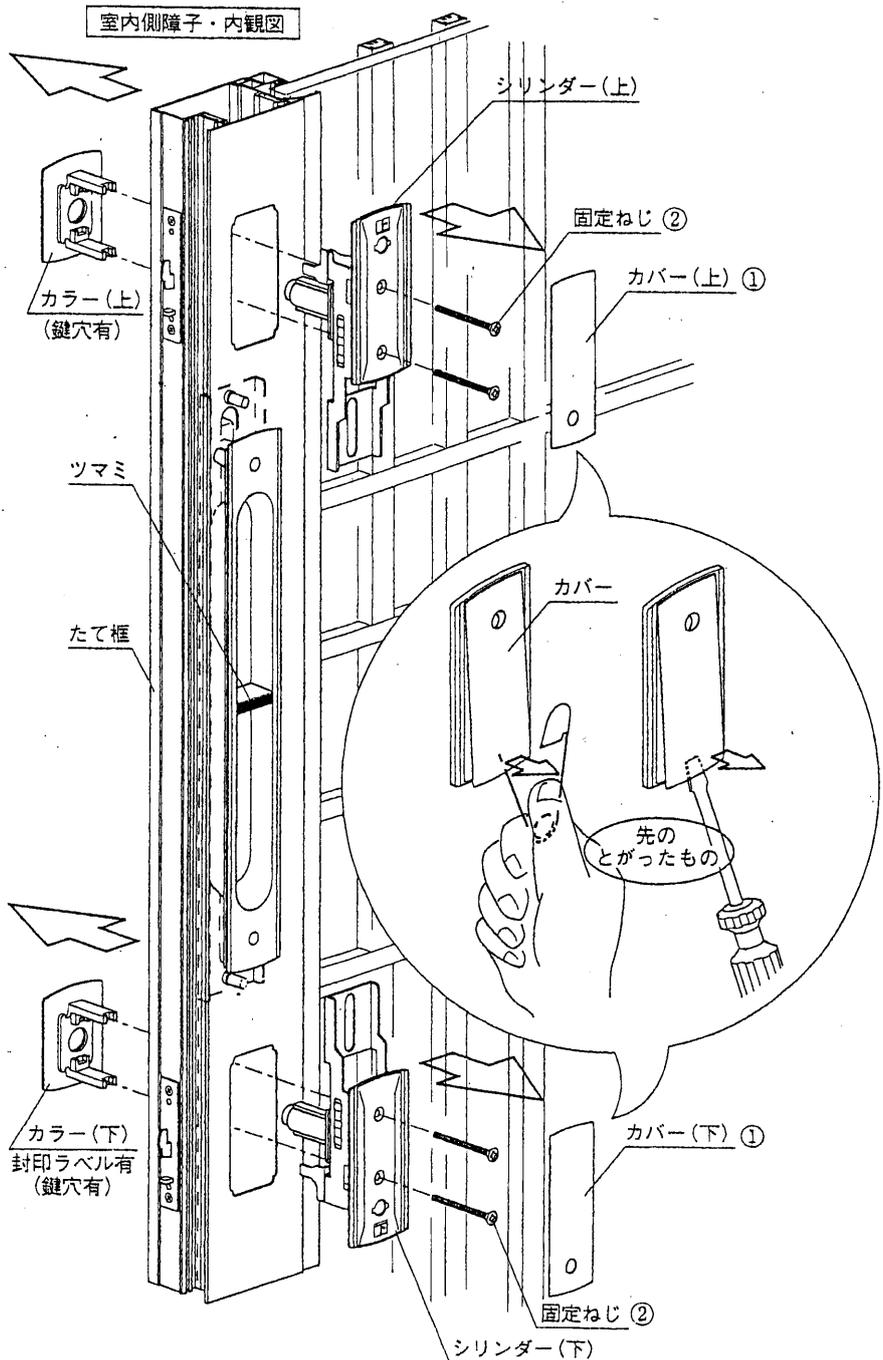
2枚戸の場合

1 カバー・シリンダー・カラーを取りはずしてください。

①カバーを取りはずしてください。
カバーとシリンダーとの間に先のとがったものを差し込んで取りはずしてください。

②固定ねじをはずし、シリンダー・カラーを取りはずしてください。

本図は室外側障子の例を示しています。
室内側障子も同様に作業を行ってください。



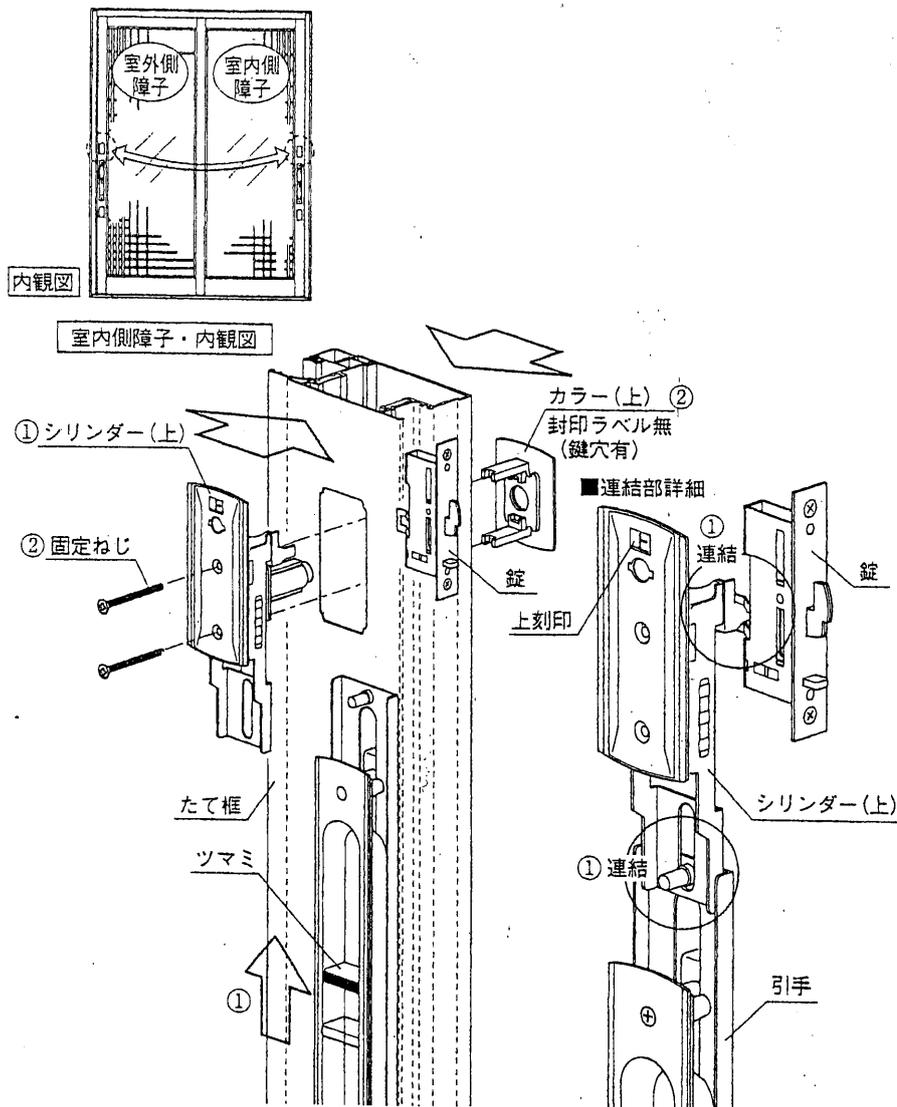
2 最初に上部のシリンダー・カラーを室外側障子・室内側障子に入れ替えてください。

ポイント

- ・シリンダーには[上][下]の刻印がありますので、入れ替えの際は注意してください。
- ・封印ラベル付のカラーは[下]用です。間違ってお上に付けるとコンストラクションが使いなくなります。

- ①引手のツマミを上げたままシリンダー(上)を錠と引手に連結してください。
- ②カラーを取付け、固定ねじで固定してください。

本図は室内側障子の例を示しています。
室外側障子も同様に作業を行ってください。



3 作動確認をしてください。

トリガーを押し込んだ状態でツマミを上下に動かし、作動確認をしてください。

ポイント 本錠は安全装置付のためトリガーを押し込まないと錠の開閉ができません。

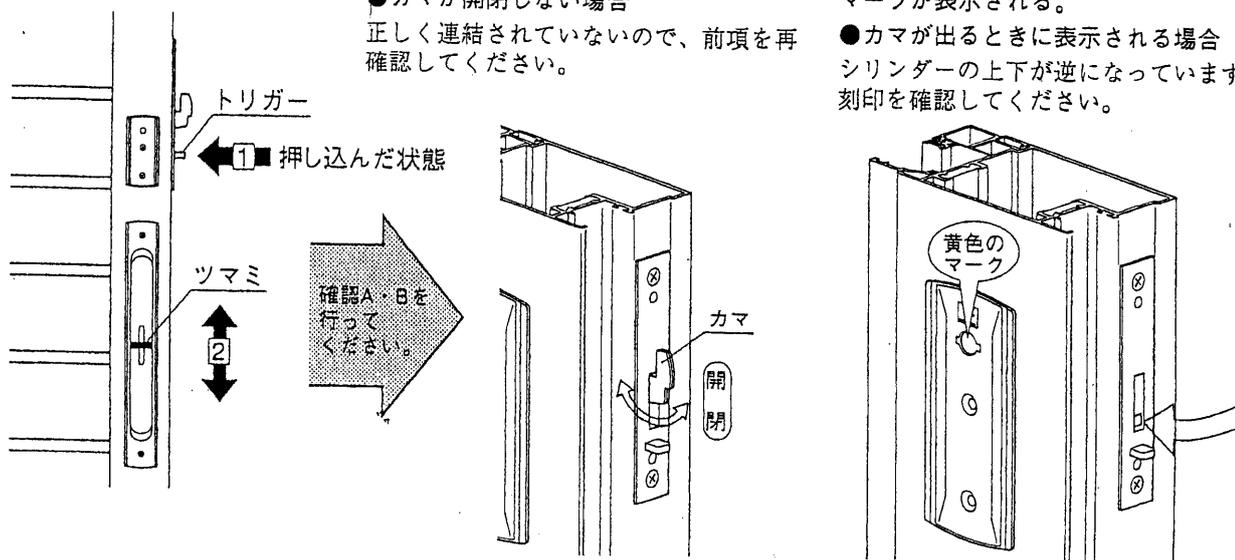
【確認A】

ツマミを上下に動かすとカマが開閉する。
●カマが開閉しない場合
正しく連結されていないので、前項を再確認してください。

【確認B】

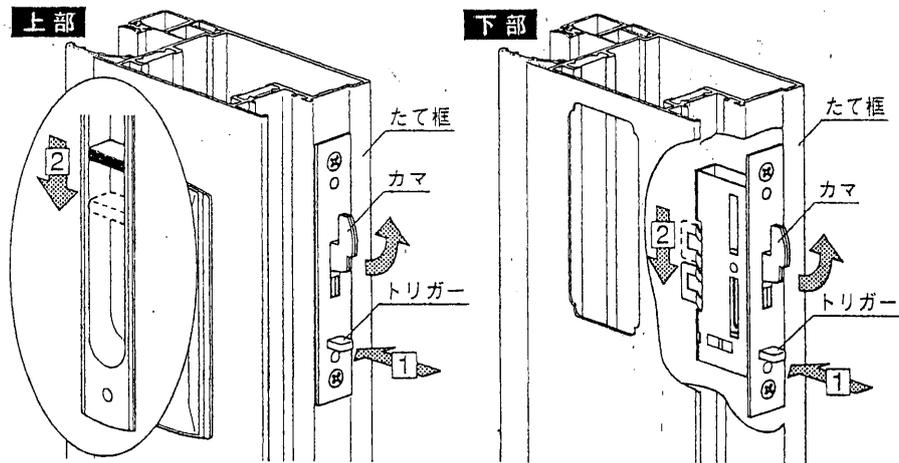
カマが引っ込む時、シリンダーに黄色のマークが表示される。
●カマが出るときに表示される場合
シリンダーの上下が逆になっています。
刻印を確認してください。

室内側障子・内観図



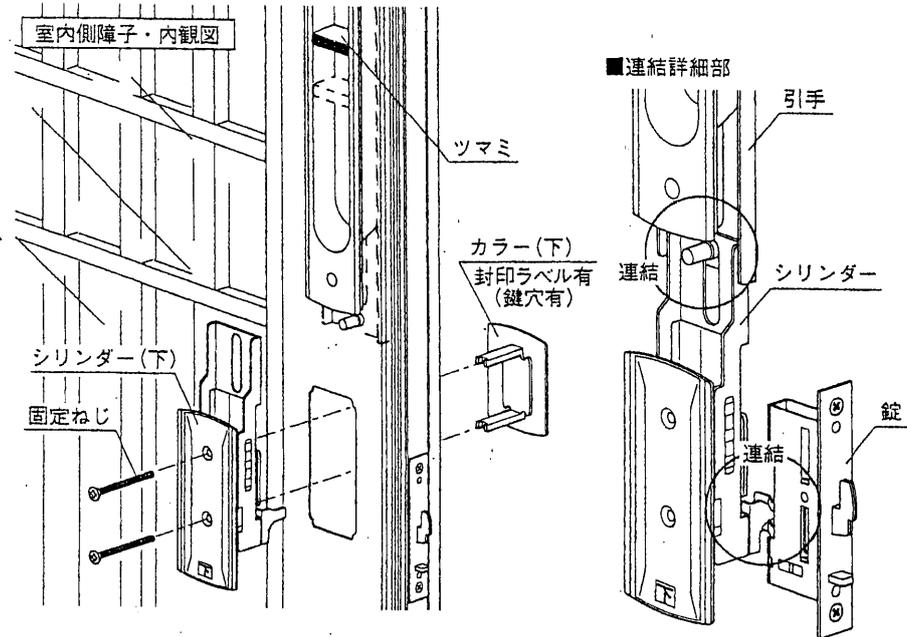
4 上部の作動確認後、下部のシリンダーとカラーを入れ替えてください。

①まず、上下共シリンダーのカマを出してください。
 上部は、トリガーを押しながらツマミを下に動かしてください。
 下部は、トリガーを押しながら錠のレバーを下げてください。



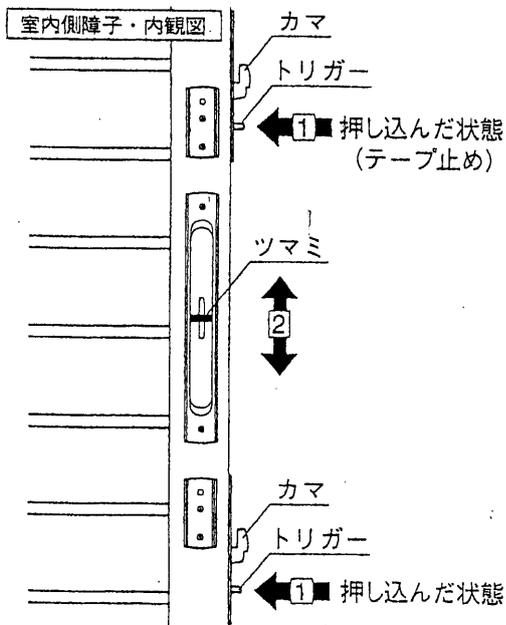
②ツマミを下げた状態で、シリンダー(下)を錠と引手に連結してください。

③カラーを取付け、固定ねじで固定してください。



5 上下の作動確認をしてください。

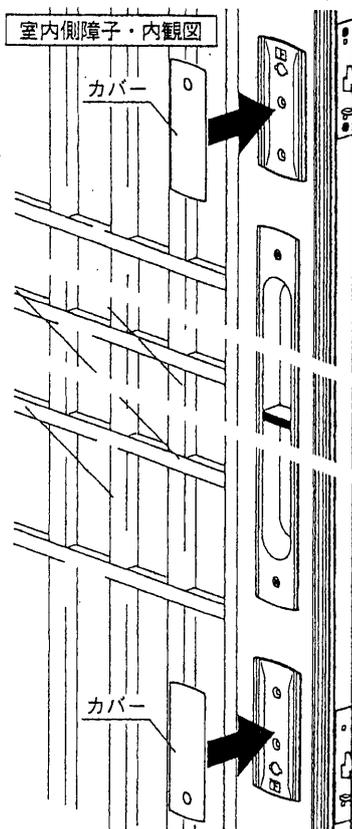
ツマミを上下に動かし作動確認をしてください。



ポイント

トリガーを上下同時に押す際は、片手だけは操作できないため、上のトリガーにテープを貼って作業してください。

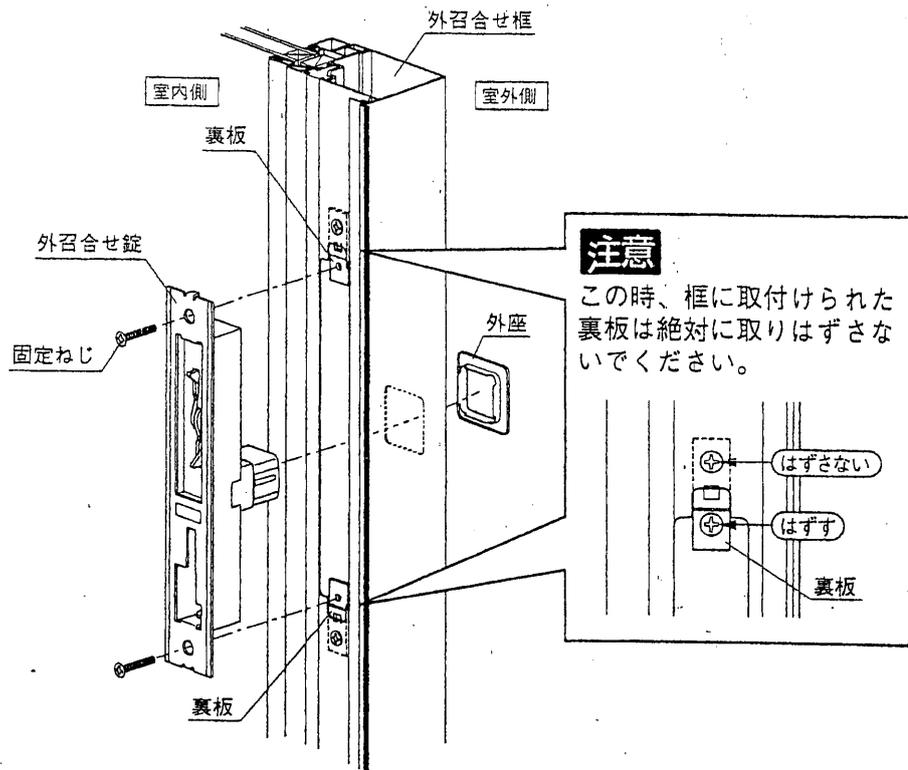
6 上下のカバーを取付けてください。



4枚戸の場合

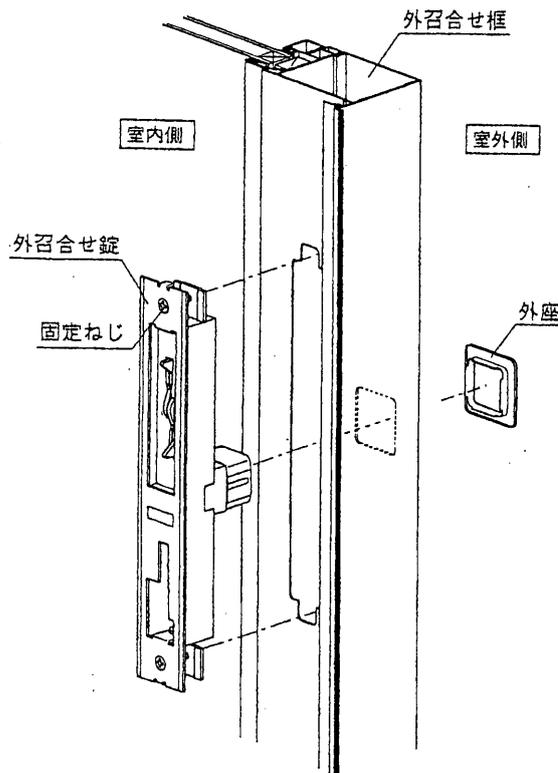
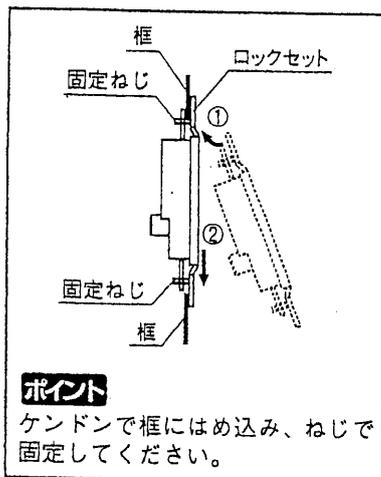
【K3障子の場合】

- ①固定ねじをはずしてください。
- ②右図を参考に左右の外召合せ錠を交換してください。
- ③再度、固定ねじを締めてください。
- ④交換後、障子を閉めた状態で正常に施解錠できることを確認してください。



【K4障子の場合】

- ①固定ねじをゆるめてください。
- ②左右の外召合せ錠を交換してください。
- ③ケンドンで錠をはめ込み、固定ねじを締めてください。
- ④交換後、障子を閉めた状態で正常に施解錠できることを確認してください。

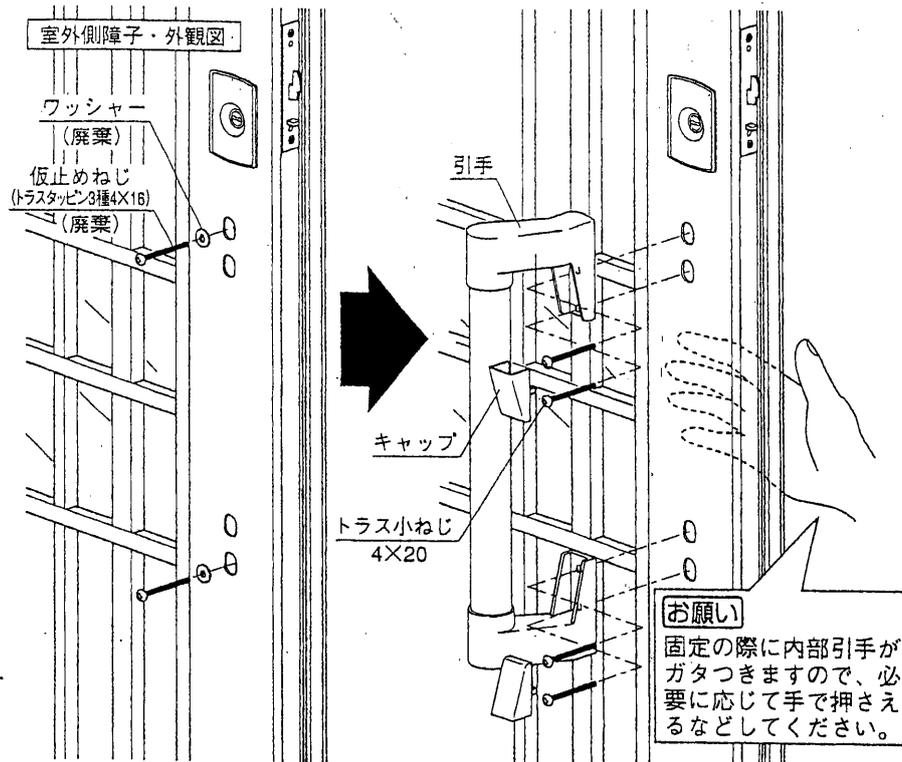


3 引手セットの取付

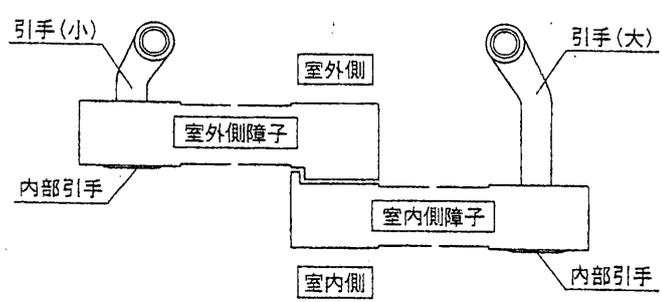
- ① 仮止めねじをはずしてください。
(ねじとワッシャーは廃棄してください。)
- ② 同梱のねじで引手を固定し、キャップをはめ込んでください。

お願い
内部引手がずれたまま固定されていないか確認してください。

ポイント
外部引手がグラつく場合は、内部引手のねじをゆるめて固定してください。



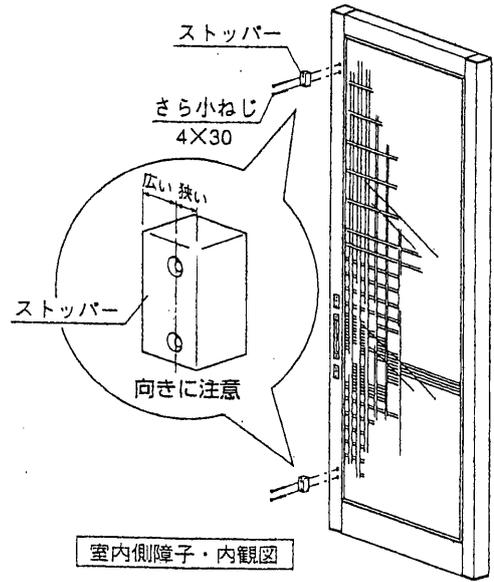
ポイント
引手とそのキャップには、室外側障子用(小)と室内側障子(大)がありますので、向きに注意して取付けてください。



- ③ 室外側障子にストッパーを同梱のねじで取付けてください。

注意
ストッパーを取付けない状態で障子を開閉すると、手をはさむ原因になります。

お願い
ストッパーの向きに注意してください。逆に付けると必要な有効開口が得られなくなります。

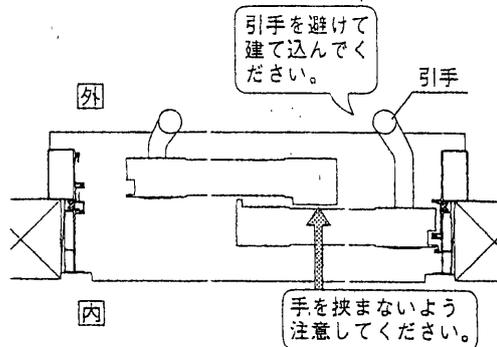
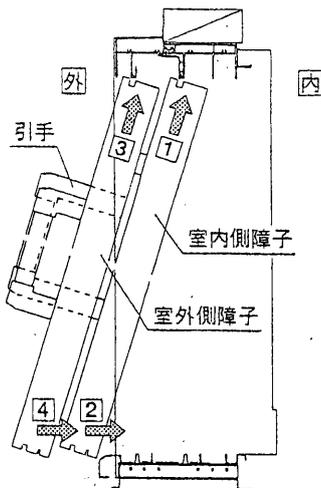


4 障子の建込み

- 外部から、図の順序に従って障子を建て込んでください。

注意

本障子はペアガラス製品のため、重量があります。建込みの際は手を挟んだり製品にキズをつけないよう、2人以上で作業をしてください。



5 建付調整 (必ず行ってください。)

■戸車調整

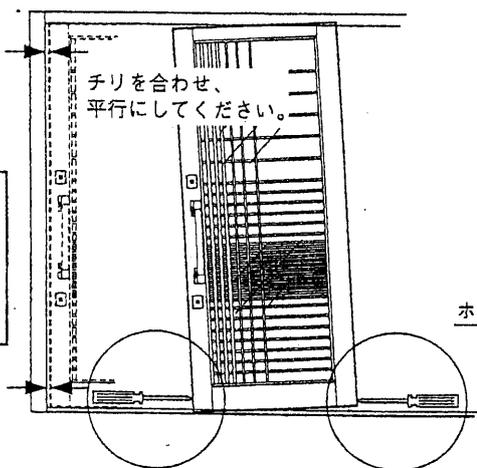
- 戸先框、召合せ框の一番下のホールプレートははずし、たて枠と框が平行になるように調整してください。

注意

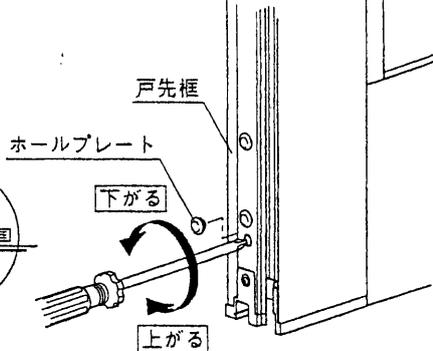
正しく調整されていないと「鍵が掛からない」「性能の低下」などの原因となります。

お願い

ホールプレートは調整後、必ず元に戻してください。



■戸先框下部



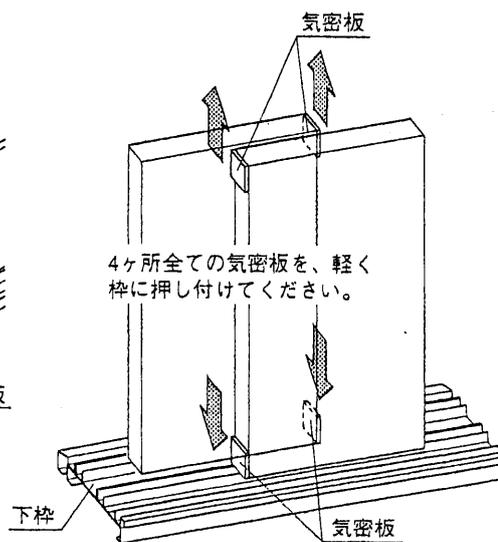
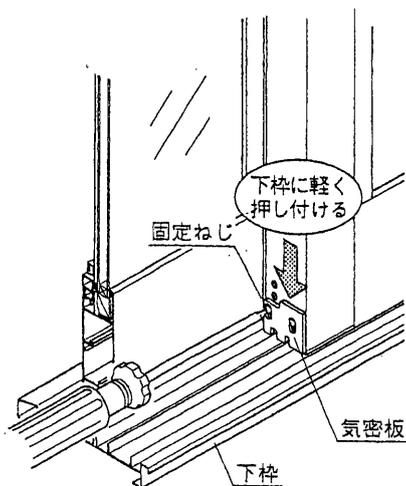
■気密板の調整

障子を閉めた状態で、召合せ框の上下にある気密板の固定ねじをゆるめてください。

- ②固定ねじをゆるめた状態で下枠に気密板を軽く押し付け、ねじを締め込んでください。

お願い

- 気密板のヒレの保護のため、工場出荷時には引っ込めた状態で取付けてあります。必ず調整を行い、すき間をなくしてください。
- 気密板は室内・室外含めて4ヶ所に取付けています。全て調整してください。



- ③調整後、障子を開閉してスムーズに動くことを確認してください。

PKH5056BK2

錠受けの調整 (2枚戸の場合)

- たて枠の錠受けの上下にあるねじをゆるめ、障子の錠にある白い突起と錠受けの下側のねじセンターが合う位置で錠受けを固定してください。

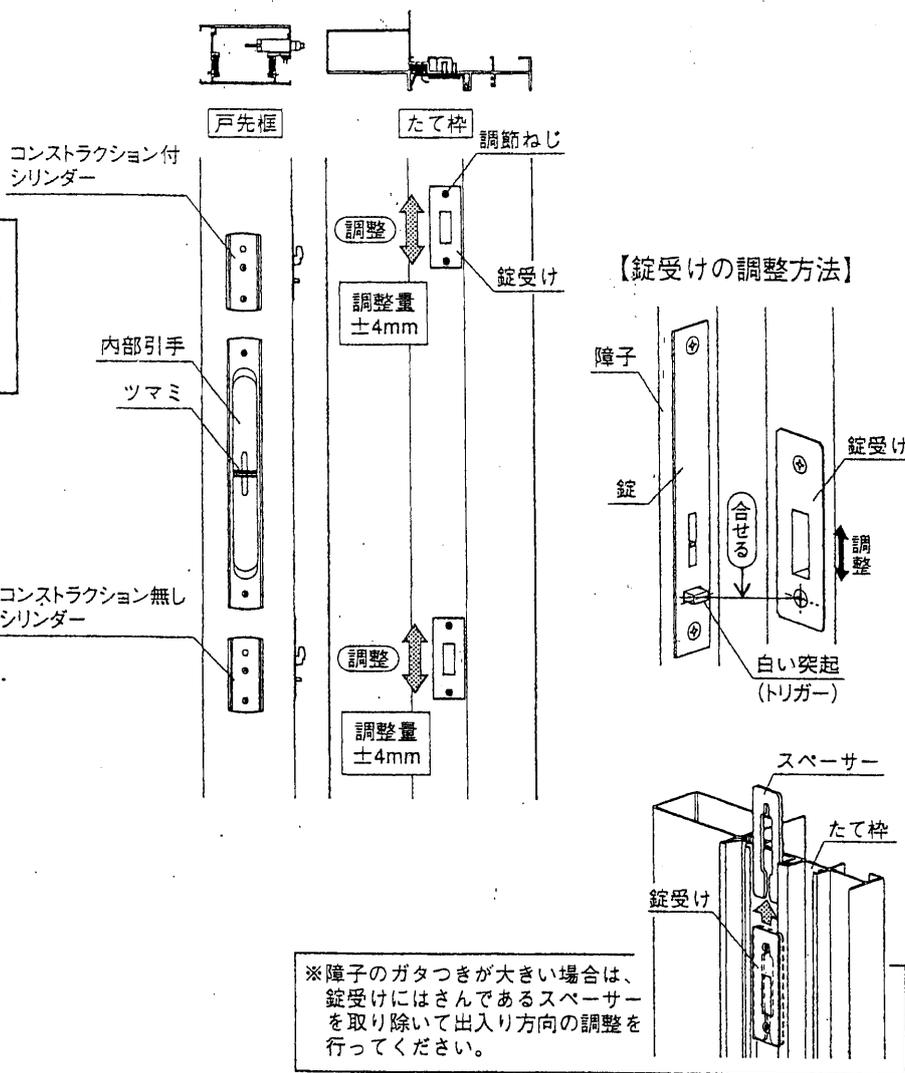
注意

錠受けの調整が悪いと、錠の掛かりが悪くなったり故障の原因になります。

- ※本製品は、内部よりツマミを操作して施錠した場合、上下同時に施錠されます。そのため、どちらか片方の調整がうまくいってなくても施錠できなくなります。

ポイント

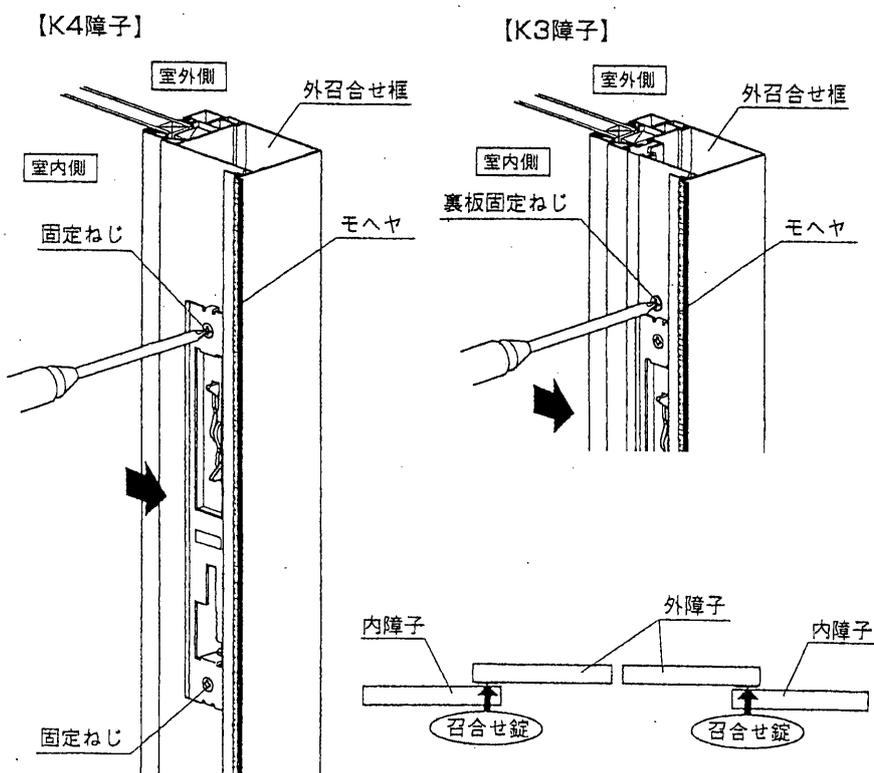
上のシリンダーは、外部よりコンストラクションキー(工事用鍵)を使えば単独で施解錠できます。まず上側を調整した後、内部よりツマミを操作して上下同時に施解錠しながら、下側の調整を行ってください。



召合せ錠の調整 (4枚戸の場合)

施錠時に横方向のガタツキがある場合に行ってください。

- ①外召合せ枠の固定ねじおよび裏板固定ねじをゆるめてモヘヤ側にスライド調整してください。
- ②調整後は、固定ねじを締めてください。



●錠受けの調整を行っても鍵が掛かりにくい場合

- 障子が傾いて、カマと錠受けが離れている可能性が考えられます。戸車の調整を再度確認してください。

ポイント

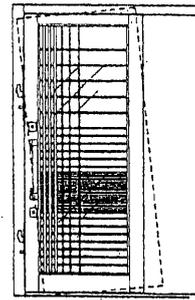
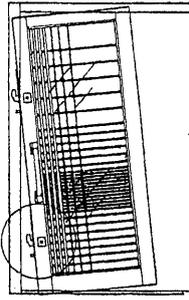
障子の上下いずれか片方を枠に押し当てると、鍵が掛かるようになる場合は、障子の傾きが原因である可能性が大きいです。

戸当り障子の調整

- 障子の下を押すと鍵が掛かりやすくなる場合

下側のカマが離れている

外観図

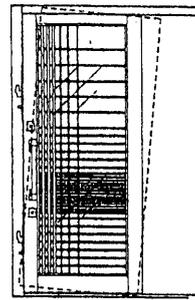
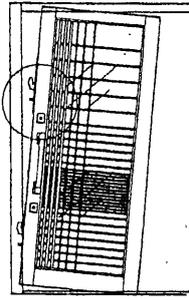


↑ 上げる ↓ 下げる

- 障子の上を押すと鍵が掛かりやすくなる場合

上側のカマが離れている

外観図

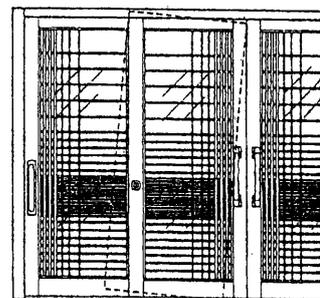
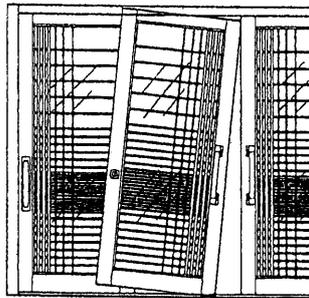


↓ 下げる ↑ 上げる

- 戸当り障子を調整後、突合せ障子が平行になるように調整してください。

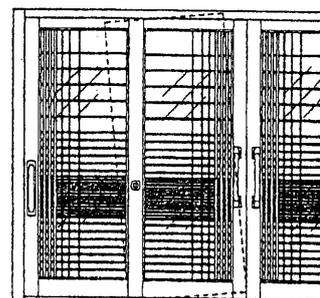
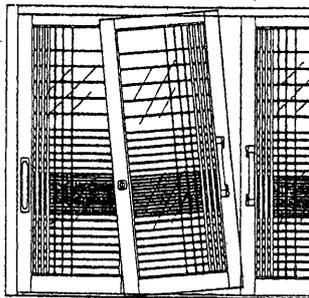
突合せ障子の調整

外観図



↓ 下げる ↑ 上げる

外観図



↑ 上げる ↓ 下げる